

# 桜川小学校水泳学習

感染リスクを減らす取り組み



## 入水前

- 健康観察を確実にを行います。
- プール残留塩素濃度などの水質管理を確実にを行います。(1Lあたり0.4mg以上、1.0mg以下(0.04~0.1%))
- シャワーは全身にしっかり浴びます。
- 密にならないように間隔をあけてシャワーを浴びます。
- 更衣室内を十分に換気し、着替えます。
- 必要に応じて動線・プールサイドをプールの水で流します。

## 用具使用の約束

- 他の児童との用具の共有はしません。

## 入水後の活動

- プール使用時は、2学級までにし、人数の制限をします。
- シャワーをあびてから移動します。
- 使用した場所や用具をプールの水で流します。
- 授業中の発声はさせません。万が一命にかかわる事態の時はその限りではありません。
- 児童同士の間隔を確保します。泳ぐ向きを一方向にします。

## 指導時

- 原則、マスク着用で指導します。口の動きを見せることが必要な場合には、フェイスシールドやマウスシールドを活用します。

## 見学者へ対応

- 見学する場合は教室で自習を行います。水泳指導をしていない担当学年の教諭が巡視します。
- 体調不良の児童が出た場合は、日陰で休む、保健室に行く等の対応をします。